

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2006-523798(P2006-523798A)
 【公表日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-041
 【出願番号】特願 2006-507706(P2006-507706)
 【国際特許分類】

F 0 2 D 41/22 (2006.01)
F 0 1 L 1/46 (2006.01)
F 0 2 D 45/00 (2006.01)
F 0 1 L 1/34 (2006.01)
F 0 2 D 13/02 (2006.01)

【F I】

F 0 2 D 41/22 3 2 0
 F 0 1 L 1/46 B
 F 0 2 D 45/00 3 4 5 Z
 F 0 1 L 1/34 E
 F 0 2 D 45/00 3 6 2 A
 F 0 2 D 13/02 G
 F 0 2 D 45/00 3 6 2 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

内燃機関のバルブの開閉特性を変化させる可変動弁機構の異常を診断する異常診断装置であって、

前記バルブの開閉特性を変化させるための制御信号を入力する制御信号入力部と、

前記可変動弁機構の物理的挙動を、前記可変動弁機構の物理的挙動を算出するために準備された物理モデルに従って演算することにより、前記入力した制御信号に基づき、前記可変動弁機構が変化させるべき前記バルブの開閉特性に関するパラメータの理論値を算出する理論値算出部と、

前記入力した制御信号に基づき前記可変動弁機構によって変化させられた前記バルブの開閉特性に関するパラメータの実測値を検出する実測値検出部と、

前記理論値と前記実測値とに基づき前記可変動弁機構の異常判定を行う異常判定部と、
 を備える異常診断装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

上記課題の少なくとも一部を解決するため、本発明の第 1 の異常診断装置を次のように構成した。すなわち、

内燃機関のバルブの開閉特性を変化させる可変動弁機構の異常を診断する異常診断装置であって、

前記バルブの開閉特性を変化させるための制御信号を入力する制御信号入力部と、

前記可変動弁機構の物理的挙動を、前記可変動弁機構の物理的挙動を算出するために準備された物理モデルに従って演算することにより、前記入力した制御信号に基づき、前記可変動弁機構が変化させるべき前記バルブの開閉特性に関するパラメータの理論値を算出する理論値算出部と、

前記入力した制御信号に基づき前記可変動弁機構によって変化させられた前記バルブの開閉特性に関するパラメータの実測値を検出する実測値検出部と、

前記理論値と前記実測値とに基づき前記可変動弁機構の異常判定を行う異常判定部と、を備えることを要旨とする。